

## ハリソン東芝ライティング(株) 本社 サイトレポート情報

所在地	: 愛媛県今治市旭町5-2-1
敷地面積	: 31,593m <sup>2</sup> 、建家面積: 15,647m <sup>2</sup> 、緑化率25.2%
設立	: 1950年5月、従業員: 520人(2011年3月現在)
主要製品	: 液晶バックライト用冷陰極放電灯、自動車用小形電球 など
ISO14001認証取得	: 1998年7月、最新更新年月: 2010年4月 (ISO認証番号: EC09J0097)



## ごあいさつ

ハリソン東芝ライティング(株) 本社は、瀬戸内海のほぼ中心部に突出した高縄半島の先端に位置する今治市で事業を展開しています。液晶ディスプレイのバックライト(冷陰極放電灯)、自動車用小形電球、OA機器など「光」製品を世界に提供しています。事業活動における環境負荷低減活動、環境調和型製品の創出を推進し、社会に貢献しています。また、従業員による地域清掃活動、廃棄物のリサイクルなど、全社を挙げて環境保全活動に注力しています。



環境管理責任者 塩川浩久

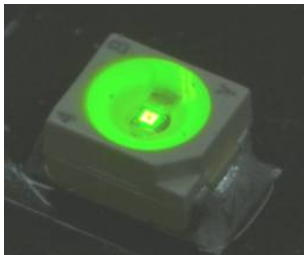
## 2010年度の環境の主な取組み

- ☆ISO14001環境マネジメントシステム  
1998年7月に認証取得。2006年2月に国内拠点(営業拠点含む)の統合認証を取得。
- ☆環境保全体制の充実  
法令、条例の順守。
- ☆CO<sub>2</sub>排出量の削減  
2010年度予測値20%削減(目標93.4kL/億円 実績89.7kL/億円)
- ☆水銀汚染廃棄物の削減  
2010年度予測値11%削減(目標3.60g/m 実績2.56g/m)
- ☆水銀使用量の削減  
2007年度上期82%に削減(目標1.50g/kp 実績1.20g/kp)
- ☆全員参加・啓発活動の展開  
環境月間・省エネ月間にハリソンニュースによる環境啓発活動。
- ☆地域との協調  
郊外への美化活動。

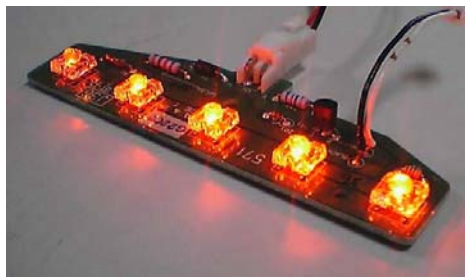
## 製品・環境技術開発、環境配慮ポイントの紹介



水銀フリー自動車用HIDランプ



高輝度LEDパッケージ  
O<sup>2</sup>PERA



車載用LED光源モジュール

## 環境コミュニケーションの紹介

- ・環境報告書の発行: 2003年度より毎年発行  
(2010年度よりHPのみ掲載)



## (本社)環境方針

ハリソン東芝ライティング株式会社・本社は、瀬戸内海に浮かぶ芸予諸島と緑豊かな高縄山地を有する愛媛県今治市に位置しています。温暖な気候で、瀬戸内海に生息するカブトガニ、石鎚山に生息するクマタカをはじめ、多様な動植物が生息・生育しています。その豊かな自然環境の中で自動車・OA及び情報機器等の産業用光源及びその応用分野製品の開発・製造をしていることを踏まえ、事業活動全体が環境に与える影響を的確に捉え、低炭素社会・循環型社会・自然共生社会を目指し、あらゆる面で地球環境保全に配慮して行動します。

1. 事業活動全体にかかわる生物多様性を含む環境影響を常に認識し、環境汚染の予防に努めます。
2. 環境活動において、技術的・経済的に可能な範囲で継続的改善を図ります。
3. 事業活動全体にかかわる環境関連法規、規則及び当社が同意したその他の要求事項などを順守し、必要により自主基準を制定し、環境活動に取り組みます。
4. 事業活動全体にかかわる環境影響のうち重点項目として以下の項目に取り組みます。
  - ① エネルギー資源の有効活用と省エネルギー化推進
  - ② 水銀使用の削減及び適切な管理
  - ③ 水銀汚染廃棄物の削減及び適切な管理
  - ④ 酢酸ブチルの大気への排出量の削減
5. この環境方針を達成する為に部門毎の環境目的・目標を設定し必要により見直しを行い環境活動に努めます。
6. 定期的に内部環境監査を実施し、環境マネジメントシステムを維持すると共に、継続・向上を図ります。
7. 教育及び社内広報活動を実施し、従業員及び常駐して業務を行う者に環境方針の理解と環境活動の高揚を図ります。
8. この環境方針は、一般公開し、関係諸官庁とのコミュニケーションを図り、地域環境に注意深く考慮します。

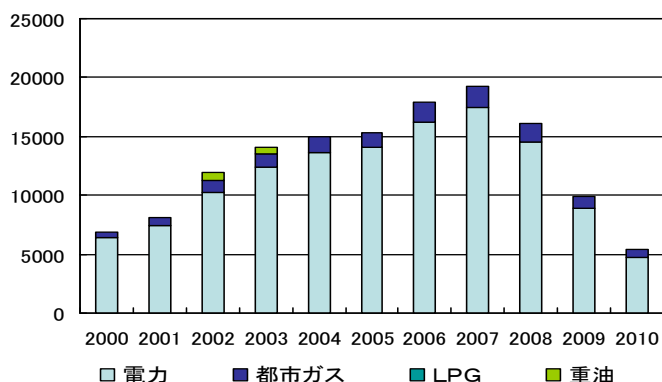
2011年5月9日

ハリソン東芝ライティング株式会社  
(本社)環境管理責任者

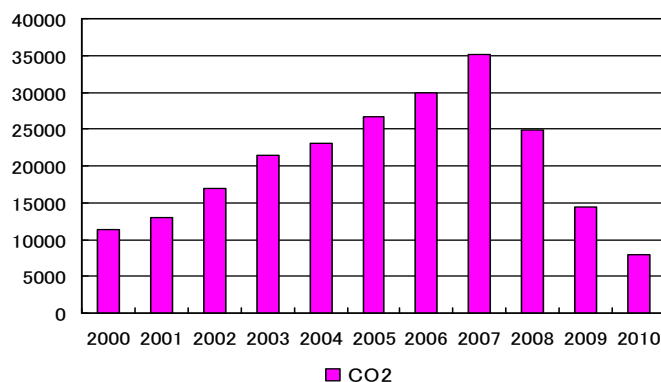
塩川 浩久

環境負荷データ

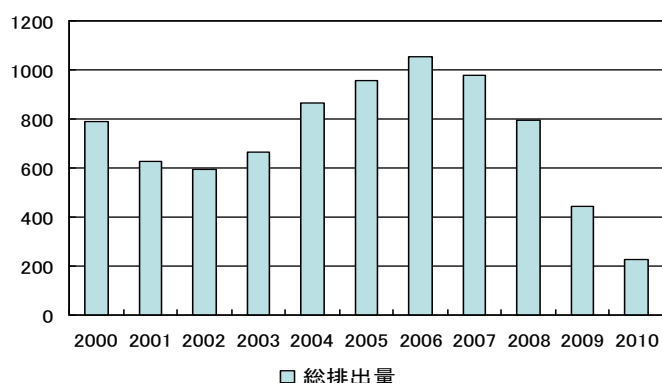
エネルギー使用量(単位:KL)



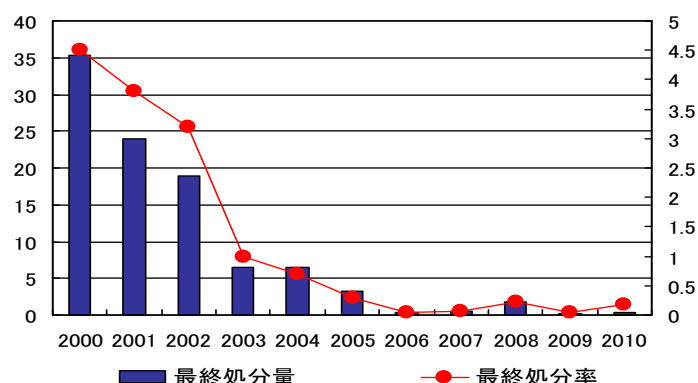
CO<sub>2</sub>排出量(単位:トン-CO<sub>2</sub>)



廃棄物総発生量(単位:トン)

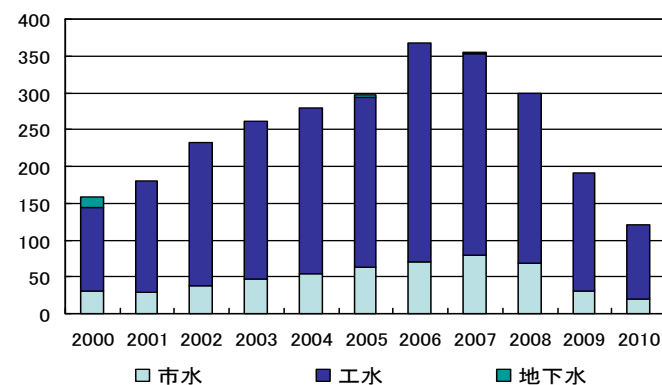


廃棄物最終処分量と最終処分率(単位:トン、%)

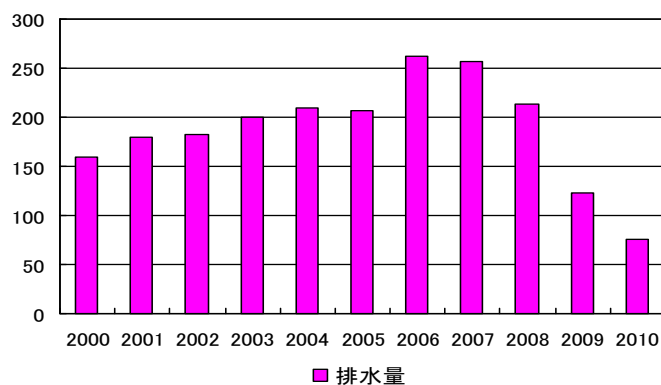


主な廃物名: 酸、汚泥、金属、ガラス、プラスチック、油等

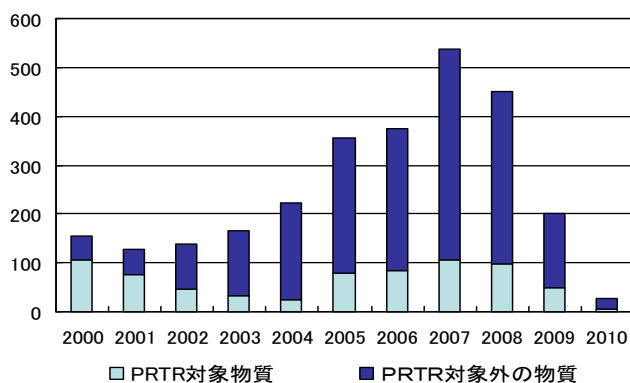
水の使用量(単位:千m<sup>3</sup>)



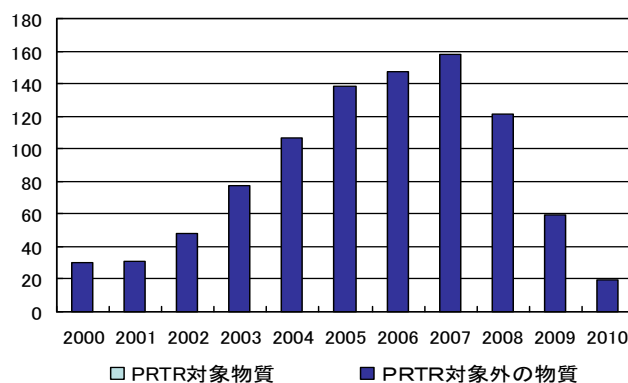
排水量(単位:千m<sup>3</sup>)



化学物質削減対象物質の取扱量(トン)



化学物質削減対象物質の排出量(トン)



主な化学物質: 酢酸ブチル

**遵法管理状況**

<大気測定結果> 冷温水器発生機(都市ガス使用) 7台

	法規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
NOx(ppm)	150	120	72	年1回
SOx(Nm3/h)	14.5	4.0	< 0.02	年1回
ばいじん(mg/Nm3)	0.10	0.05	< 0.01	年1回

<排水測定結果> 洗浄施設、下水へ放流

	規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
水素イオン濃度(pH)	5.0~9.0	5.5~8.5	7.2	毎日
BOD(mg/ℓ)	600	50	3	各週1回
COD(mg/ℓ)	---	---	---	---
SS(mg/ℓ)	600	40	2	年2回
窒素(mg/ℓ)	240	80	24	年2回
フッ素(mg/ℓ)	0.005	0.0005	<0.0005	週1回

<騒音・振動測定結果> 特定施設 騒音:送風機38台、空気圧縮機25台、振動:空気圧縮機25台

	測定場所:時間	規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
騒音(dB)	敷地境界:昼	65	---	51	年4回
	敷地境界:夜	50	---	48	年4回
振動(dB)	敷地境界:昼	65	---	31	年1回
	敷地境界:夜	60	---	30	年1回

<その他測定結果> (下水道法:主な測定結果)

	規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
水素イオン濃度(pH)	5.0~9.0	X.X~X.X	X.X	月1回
BOD(mg/ℓ)	600	XXX	XX	月1回
SS(mg/ℓ)	600	XXX	XX	月1回

<環境事故・指導指摘・苦情の有無>

	状況
環境事故発生の有無	なし
工場周辺や地域での環境問題発生の有無	なし
行政からの指導・指摘の有無	なし
近隣住民からの苦情の有無	なし